

平成 28 年度 河川レンジャー年間活動計画

平成 28 年 3 月

高槻出張所管内河川レンジャー	杉本 真一（6 期生） 原 健二（7 期生）（再任） 本田 有（10 期生）
山崎出張所管内河川レンジャー	福嶋 保雄（8 期生）

目 次

1. 高槻出張所管内河川レンジャー 杉本 真一	1
2. 高槻出張所管内河川レンジャー 原 健二	9
3. 高槻出張所管内河川レンジャー 本田 有	19
4. 山崎出張所管内河川レンジャー 福嶋 保雄	30

平成 28 年度 河川レンジャー年間活動計画

高槻出張所管内河川レンジャー 杉本 真一

1. 活動の目的

【現状と課題】

- ・子どもの「遊び方」の多様化や休日も塾や習い事へ通う割合が高いことなどから自然環境の場で遊ぶ子どもたちが減少している。学校では防災安全面から「川は危ない」との指導。
- ・近年の自然災害は増加傾向にあり、私たちの「防災」への関心が高まっている。地域での防災活動は増えつつあるが、学校現場での「防災教育」へのニーズが求められている。

【目的】

自然と「ふれあう場」が少ない子どもたちに、学校では経験のできない自然体験学習を実施します。特に高槻市を南北に流れる芥川と淀川とのつながりに意識しながら、子どもの健全育成と淀川・芥川についての関心を高めていくことを目的とします。

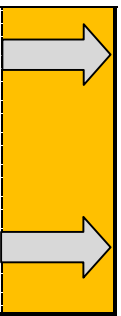
また、幅広い世代の方へ淀川・芥川の魅力や想いを学び教え合う場を創出し、河川から地域の防災や自然環境、生活、歴史、文化などを学ぶことで、河川への理解を深めていくことを目指します。

2. 活動の目標

- Step1 河川にかかわる問題やニーズを把握する
- Step2 レンジャー活動のネットワーク構築（他機関との連携）
- Step3 レンジャー活動を通じて次世代育成（教え伝えるしくみ作り）や地域活動をサポート

3. 活動の概要

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行		1 期		2 期
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	① 「高槻ジュニア河川レンジャー」の実施 ・川と自然とのかかわりを理解する体験学習プログラム・参加者の募集や関係機関との調整 ② たかつき川トークプロジェクト ・河川に関する各テーマ（防災、自然環境、歴史、観光など）の交流会・川の安全、治水、環境を考える意見交流会 ●防災授業：小学校での出前授業（水害について）					
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	① 「高槻ジュニア河川レンジャー」の展開 ・他機関との協力体制を構築する ・サポートスタッフの育成 ② たかつき川トークプロジェクト ・淀川でのウォーキングプログラムの実施 ●防災授業 ・継続的な活動に向けた教育委員会との協議 ・小中学校での出前授業実施に向けた取組					

Step3 地域住民から 行政へ発信する 仕組みを構築	① 「高槻ジュニア河川レンジャー」の継続 ・「参加する側」から「教える側」へ学び合う場をつくる ② たかつき川トークプロジェクト ●防災授業（マイ防災マップ作成） ・小中学校での出前授業（段階的学習）の確立 ・防災について調べたことを発表する場を創出				
--------------------------------------	--	--	--	--	---

4. 平成 28 年度活動内容

平成 28 年度の活動一覧

活動分野	活動名
河川の適正な利用の 推進を図る活動 河川に係わる文化・歴史の 普及・啓発活動	高槻ジュニア河川レンジャー
	たかつき川トークプロジェクト
防災・救護・救難の 推進を図る活動	たかつき川トークプロジェクト

■活動を実施していく上での課題

- ・広報活動の充実
- ・関係機関との協力体制づくり

■課題に対する改善点

- ・広報（チラシ等での告知）体制の強化
- ・他団体との連携を推進

4. 1 高槻ジュニア河川レンジャー

(1) 活動目的

高槻市内を流れる芥川・淀川の魅力にふれながら、子どもたちが体験学習活動を通じ河川を知り、自然を守る「高槻ジュニア河川レンジャー」として育成する。「自然観察」「川の安全」プログラムの充実を図る。引き続き子どもたちを取り巻く市民、地域の中学・高校等の自然クラブ等との連携を構築し、河川理解と「高槻の川ファン」を増やしていく。また、次世代育成に向けたスタッフの育成を図る。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 2 8 年	4月	関係機関との調整
	5月	芥川 水の安全ウォーク【1】 @津之江 川遊びマップ作り（調査）
	6月	連絡調整、参加者募集
	7月	芥川の生き物さがし @原地区
	8月	芥川 水の安全ウォーク【2】 @原 川遊びマップ作り（調査）
	9月	
	10月	たかつき水の安全ウォーク【3】 @芥川 川遊びマップ作り（調査）
	11月	
	12月	
平成 2 9 年	1月	
	2月	
	3月	芥川クリーンアップ大作戦（下旬）

(2) 連携等

- 団体の協力・他団体への活動（行事）への協力等
- 団体名（芥川漁業協同組合、NPO 法人ノート等）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象 小学校3～6年生の児童、地域の中学・高校等の自然系クラブ
地域住民など
- 定員 30名

(4) 実施内容

- ・河川について学習する勉強会（自然環境、生き物、防災など）
- ・講師による現地での体験活動等

(5) 実施日

活動実施スケジュールを参照 ※活動日等は調整中

(6) 実施場所

芥川上流域～下流域及びその周辺

(7) 安全対策

活動エリアの上流及び下流にスタッフを配置

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

講師（各回テーマに沿った学識経験者など）

協力スタッフ 5～10名（参加者の安全確認、活動のサポート）

(9) 広報・募集方法

募集チラシや広報等での周知

(10) 必要支援内容

講師謝金、スタッフ経費（実費交通費等）、資料印刷費、保険料など

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

プログラムの企画、資料作成、事前準備、関係機関との調整、当日の運営

(12) その他

関係機関との連携

4. 2 たかつき川トークプロジェクト

(1) 活動目的

地域を流れる淀川と芥川を考え、河川を知る場として、防災・自然環境・歴史などをテーマとした交流・学習会等を実施する。特に、小中学校等での防災教育（出前授業）に取り組み、防災意識の向上と「自分の命は自分で守る」ということを伝えていく。また、継続的な防災教育のしくみ作りに向けた検討を行う。

活動実施スケジュール

開催日やプログラム内容は関係機関と調整します

		実 施
平成 2 7 年	4月	・防災授業実施に向けた取組み（地元小中学校との調整） ・淀川を歩こう！～三箇牧ウォークと神安ポンプ場見学～
	5月	
	6月	小学校での防災授業（三箇牧小学校3年生、水害から身を守る）
	7月	
	8月	
	9月	地域イベントでの防災啓発活動PR（たかつきNPOフェスタ）
	10月	
	11月	
	12月	
平成 2 8 年	1月	他小中学校で小学校での防災授業（柱本小学校5年生、防災マップ作り）
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- 団体の協力・他団体の活動（行事）への出展等
- 団体名 高槻市立三箇牧小学校、高槻市立柱本小学校、神安土地改良区、高槻市（危機管理室、下水河川企画課）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：地域住民・団体（地域住民・学校など）
団体名（高槻市立小学校）
- 定員：計100名

(4) 実施内容

防災・自然環境・歴史・観光などをテーマとした交流・学習会・出前授業等の実施

(5) 実施日

活動実施スケジュールを参照 ※活動日等は調整中

(6) 実施場所

高槻市内（教育機関での実施の場合は小学校）

(7) 安全対策

安全確認スタッフを配置（屋外プログラム実施時）

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

講師（各回テーマに沿った学識経験者など）

協力スタッフ3～5名（参加者の安全確認、活動のサポート）

(9) 広報・募集方法

募集チラシや広報等での周知

(10) 必要支援内容

講師謝金、スタッフ経費（実費交通費等）、資料印刷費、保険料など

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

プログラムの企画、資料作成、事前準備、関係機関との調整、当日の運営

(12) その他

関係機関との連携

4. 3 摂津市：芥川水辺のいきもの観察会（仮称）

■連携する河川レンジャー名

本田河川レンジャー（高槻出張所管内）

中島河川レンジャーアドバイザー（高槻出張所管内）

■連携理由

都市河川に囲まれ生きもの観察の場が少ない摂津市の子どもたちを、多様な生き物が生息している高槻市津之江公園にて観察会を実施する。また、津之江公園などでエコクラブ活動をされている本田レンジャーとの連携を通じ、自然環境の保全・啓発につながると考える。

■連携における河川レンジャー間の役割分担

- ・摂津市環境政策課との調整
- ・観察会指導の中島河川レンジャーアドバイザーとの事前打ち合わせ
- ・当日の観察会の指導

本田河川レンジャー

- ・津之江公園プロジェクトの紹介

（1）活動目的

芥川の豊かな自然とふれあい、環境へ興味・関心を持つきっかけとなるような場を提供し、環境に優しい行動を啓発、自然を大切にすることを育むことを目的とする

活動実施スケジュール

		実 施
平成 2 8 年	4月	関係機関との調整
	5月	
	6月	参加者募集
	7月	現地下見、水辺のいきもの観察会 実施
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
平成 2 9 年	1月	
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- 団体への協力
- 団体名（摂津市 生活環境部環境政策課）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：地域住民（小学生）※低学年の方は保護者同伴
- 定員：50名

(4) 実施内容

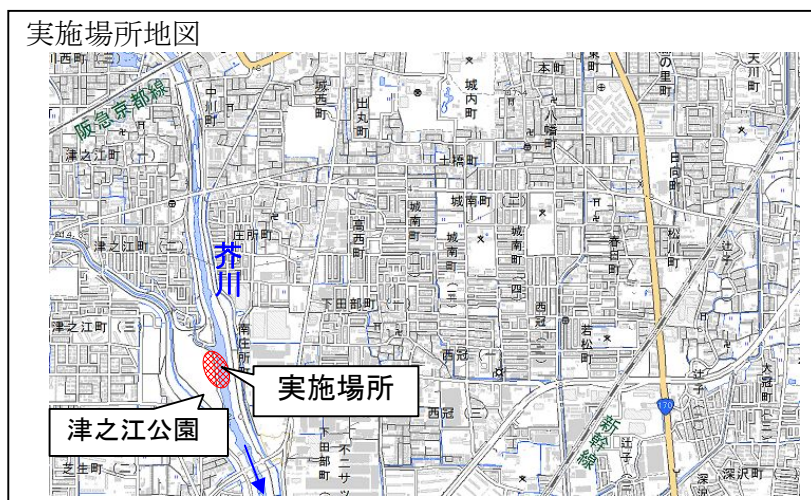
水生生物の生息環境や生態状況を調査・観察し、川の汚れ具合を観察、地球環境の保全・啓発を目的とする観察会

(5) 実施日

平成28年7月22日（金）※雨天・警報発令時は29日（金）へ順延

(6) 実施場所

高槻市津之江公園（芥川、如是川合流点付近）



(7) 安全対策

- ・監視員の配置
- ・ライフジャケットの借用
- ・緊急時の車両（摂津市）

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・摂津市職員

(9) 広報・募集方法

摂津市内へ広報等で周知

(10) 必要支援内容

ライフジャケット、観察会用資材（観察水槽、ライフジャケット、ウォータークーラー等）
日よけ対策（テントもしくはタープ。熱中症予防）

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

摂津市、高槻出張所管内河川レンジャーとの事前調整
観察会（当日）の進行

(12) その他

平成 28 年度 河川レンジャー年間活動計画

高槻出張所管内河川レンジャー 原 健二

1. 活動の目的

- ①地域住民の淀川への接点は河川公園である場合が多い。魅力ある河川公園にすることが多くの淀川ファンをつくることに繋がり、住民参加の各種活動により住民の意見を取り入れた魅力ある淀川を実現することができる。
- ②河川公園大塚地区には公園整備計画があり今後4～5年をかけて整備されることになっているが、地域住民からは大塚地区特有の河川公園へのアクセスの安全性確保や親水エリアの実現等多くの課題や要望もある。

以上の課題認識から

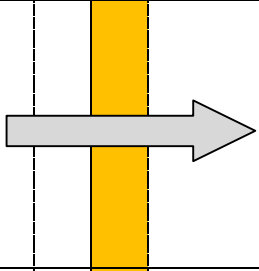
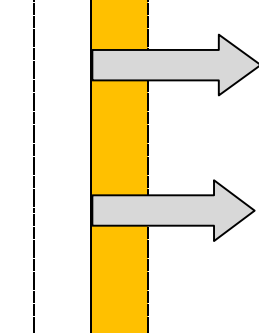
地域住民と行政の橋渡し役となって淀川河川公園大塚地区公園整備計画のベストな実現を目指すことを活動の目的とする。

2. 活動の目標

- Step1 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた課題抽出とその解決案の検討をするとともに自然観察や美化活動などのイベントを通して地域住民に関心を持ってもらう。
- Step2 課題解決のため設立したワーキンググループでの検討結果を具体的な提案書として作成する。
- Step3 ワーキンググループを継続するとともにより魅力的な河川敷実現に向けた新たな活用提案書を作成する。

3. 活動の概要

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1 期		2 期	
		1	2	3	4	5～RA
Step1 地域住民の関心を高める	①淀川右岸大塚地区の現状調査 ・巡回や公園利用者アンケート調査により現状課題整理を実施するとともに河川・公園管理者との報告会により課題共有を図る。				■	■
	②自然観察会（バッタのオリンピック） ・河川敷の自然にふれあってもらうとともに参加者に公園整備計画の説明することにより感心を高めてもらう。				■	■
	③クリーンアップ活動 ・水辺をクリーンアップするとともに淀川の水質検査などを通して淀川の環境に対して関心を高めてもらう。				■	■
	④地域住民との連携確立 ・地域住民会議へ河川レンジャーとしてメンバー登録し、地域住民と行政の橋渡しのベースとなる意見交換の場を確立する			■		

<p>Step2 河川レンジャーと 管理者が協働して 取り組む</p>	<p>①大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた課題解決ワーキンググループの設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の公園へのアクセスの安全性確保や親水エリアの確保などの課題や要望に対してその解決にむけワーキンググループの中で住民や関連行政と一体となって取り組む。 		
<p>Step3 地域住民から 行政へ発信する 仕組みを構築</p>	<p>①ワーキンググループの継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川敷全般における課題抽出とその解決策を検討するとともに河川敷の新たな活用を検討する。 <p>②親水エリアの日常的な管理体制を確立する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体となつての草刈りや清掃などの日常管理が定期的実施される体制を確立する。 		

4. 平成 28 年度活動内容

平成 28 年度の活動一覧

活動分野	活動名
河川の適切な活用を推進する活動	大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動
河川の環境保全を図る活動	バッタのオリンピックの開催
	大塚地区水辺クリーンアップ活動 【淀川・芥川クリーンアップ大作戦】

■活動を実施していく上での課題

- 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動
 - H26 年度立ち上げた課題検討WGでの検討結果の関連行政との調整による具体的な実現
特に堤防道路横断時の視認性改善のための低草丈草種（イワダレソウ）実験導入実現
 - 親水エリアの活用に関しては地域住民と行政との連携で具体提案まとめ
- バッタのオリンピック
 - 参加者はリピーターが多いので競技終了後の公園整備計画の進捗説明を昨年度との差を解かりやすく説明する工夫が必要
 - 新規参加者増の推進
- 大塚地区水辺クリーンアップ活動【淀川・芥川クリーンアップ大作戦】
 - 芥川クリーンアップ大作戦（芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク主催）との連携開催の中で大塚地区公園整備計画を如何に参加者へ伝えるかの方策検討が必要
 - より水辺に近い場所での清掃活動の実施

■課題に対する改善点

- 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動
 - 課題解決に向けた関連行政との連携強化と提案に向けた具体的な調査データの積み上げ
 - 親水エリアの活用に関して当面は公園内にある池の活用を中心にWGの中で具体検討の実施
- バッタのオリンピック
 - 公園整備計画進捗の変化点に関して河川事務所河川公園課との連携を強化するとともにWGでの検討内容の参加者説明への反映
 - 新規参加者確保の為に広報活動の推進（地元公民館との連携等）
- 大塚地区水辺クリーンアップ活動【淀川・芥川クリーンアップ大作戦】
 - 芥川クリーンアップ活動と連携する中で公園整備計画進捗説明を含めた淀川本川（大塚地区）における独自性の打ち出し
 - 河川管理者との連携の中で安全確保を前提により水辺に近い場所での清掃活動検討

4. 1 大塚地区公園整備計画のベストな実現に向けた活動

(1) 活動目的

- ・淀川右岸大塚地区公園整備計画に対してこれまでの活動で調査した安全面や活用面での課題抽出に対してその具体的な解決に向けて H26 年度に立ち上げた地域住民を中心とした課題検討WGでの検討結果をベースに地域住民や河川利用者と行政の橋渡しとなり、公園整備計画のベストな実現に向けて推進する。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 2 7 年	4月	河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催
	5月	
	6月	河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催
	7月	
	8月	河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催
	9月	
	10月	河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催
	11月	河川/公園管理者への報告会
	12月	河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催
平成 2 8 年	1月	
	2月	河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WGの開催
	3月	

(2) 連携等

- ・河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WG活動
高槻市南大冠東地区住民会議
高槻市冠コミュニティ協議会

(3) 参加対象者・定員

- ・河川公園大塚地区公園整備計画課題検討WG活動
参加対象：地域住民（WGメンバー7名）＋ 河川レンジャー ＋ 淀川河川事務所
- ・河川/公園管理者への報告会
参加対象：河川/公園管理者等（一般参加はなし）

(4) 実施内容

①大塚地区公園整備計画課題検討WG

平成 26 年 11 月に立ち上げたWGで大塚地区公園整備計画における課題検討を継続実施し

関連行政への提案を含めて課題解決を図る。

主な検討項目

★公園へのアクセス改善（堤防道路横断の安全性確保）

- ・ 関連行政（高槻市、高槻警察）へ堤防道路草刈や休日車両通行禁止の交通規制徹底に関するフォロー継続
 - ・ 視認性向上のための堤防植生としての低草丈草種（イワダレソウ）の階段周辺への試験導入対応
- 他地域での堤防植生実験現場の見学会実施（WGメンバー）
河川事務所として実験導入される場合は植え付け後の地域住民参加による雑草抜根活動を計画（一般参加募集予定）

★親水エリアの整備とその活用提案

- ・ 現在公園内にある池の整備検討

★危険迷惑行為の撲滅

- ・ 危険迷惑行為の調査とその対応策の検討

②河川/公園管理者への報告会

高槻出張所、河川公園事務所にWGでの検討結果のフォロー項目や継続して実施する大塚地区巡回で気づいた点や調査した結果を報告することにより日常の管理に反映していただく。
メンバー

河川管理者：高槻出張所

公園管理者：河川公園事務所

河川レンジャー

③大塚地区の巡回

危険場所のチェックや迷惑行為の実態調査

(5) 実施日

①大塚地区公園整備計画課題検討WGは基本的に2か月毎に実施予定

（実際の検討状況によりその都度開催を決めていく）

地域住民への説明は月1回の定例住民会議で実施していく

②河川/公園管理者への報告会は11月に実施予定

③巡回に関しては不定期で休日を利用して実施予定

(6) 実施場所



(7) 安全対策

- ・大塚地区巡回に関して
水辺は蛇等の危険もあり長靴や長袖、長ズボンの着用徹底
複数人での巡回を基本とする（1人で実施する時は行動予定の連絡徹底）

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・大塚地区公園整備計画課題検討WG
地域住民7名含めたWGメンバー11名で課題検討実施

(9) 広報・募集方法

- ・WGメンバーの拡大に向けてはWGメンバーの意見もふまえて検討予定

(10) 必要支援内容

- ・WG検討会のための資料提供（淀川河川事務所等）
- ・配布資料のコピー対応（河川レンジャー事務局）

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ①大塚地区公園整備計画課題検討WG
 - ・WG検討会のリーディング
 - ・各検討テーマに関する事前調査と資料まとめ
- ②河川/公園管理者への報告会
 - ・日々の巡回での課題抽出
（公園管理員や利用者への現場での課題、要望等のヒアリング含めて）
 - ・報告資料のまとめ

(12) その他

4. 2 バッタのオリンピック

(1) 活動目的

- ・淀川河川公園大塚地区で採集したバッタでその飛距離を競うバッタオリンピックの開催により地域住民に自然へのふれあいの場を提供し、子供たちも含めた多くの世代に河川を含めた自然保護の重要性を再認識してもらおう。さらには大塚地区公園整備計画の説明を通じて整備計画に関心を高めてもらい快適な公園実現に向け一体となって取り組む。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 2 7 年	4月	
	5月	
	6月	
	7月	・事前準備（関連部門との打合わせ）
	8月	・事前準備（開催案内の発信 etc.）
	9月	・バッタオリンピックの開催（9/25）
	10月	・活動まとめ
	11月	
	12月	
平成 2 8 年	1月	
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- ・特になし

(3) 参加対象者・定員

- ・小学生以下（保護者同伴）
- ・競技参加者：40名

(4) 実施内容

- ・当日大塚地区で採集したバッタを使ってその飛距離を競う
- ・大塚地区公園整備計画の進捗説明

(5) 実施日

- ・2016年9月25日（日）

(6) 実施場所



(7) 安全対策

- ・バッタ採集時に草むらに入るので参加者への長袖長ズボン着用の徹底
- ・事前調査による立ち入り禁止場所の明確化と当日の参加者への徹底
- ・この時期まだ日差しが強いので熱中症対策の参加者への徹底
活動場所での日陰の確保等

(8) 協カスタッフ等の人数とその役割

- ・バッタの専門家1名
- ・サポートスタッフ6名
(受付、距離測定係、写真係、救護係 etc.)

(9) 広報・募集方法

- ・地元自治会、地元子ども会への案内
- ・地域公民館へのチラシ設置
- ・公園利用者へのチラシ配布
- ・河川レンジャーホームページでの案内

(10) 必要支援内容

- ・公園整備計画の進捗説明および資料提供（淀川河川事務所河川公園課）
- ・必要物品（テント、机、椅子、拡声器など）貸与
- ・配布資料の印刷

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・協カスタッフの依頼および河川/公園管理者との打合わせ
- ・広報活動
- ・当日の運営（大塚地区河川公園整備計画の進捗説明チャート展示による啓発活動含めて）
- ・統一アンケートの作成およびまとめ

(12) その他

4. 3 大塚地区水辺クリーンアップ活動
【淀川・芥川クリーンアップ大作戦】

(1) 活動目的（大塚地区）

- ・河川公園大塚地区整備計画の中に親水エリアの計画もあり、より水辺に近いところでのクリーンアップ活動により、地域住民に川の状況を知ってもらうとともに親水エリアの有効活用に向け関心を高めてもらう。

活動実施スケジュール

		実 施
平成 2 7 年	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
平成 2 8 年	1月	淀川・芥川クリーンアップ大作戦実行委員会への参加、関連機関との打合わせ
	2月	事前準備（案内発信 etc.）
	3月	大塚地区水辺クリーンアップ活動、活動まとめ

(2) 連携等

- ・芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク

(3) 参加対象者・定員

- ・参加対象：一般（小学生以下は保護者同伴）
- ・定員：50名

(4) 実施内容

- ・大塚地区の水辺を中心とした清掃活動
- ・大塚地区公園整備計画の概要および進捗説明等による啓発活動

(5) 実施日

- ・2017年3月：「淀川・芥川クリーンアップ大作戦」の1会場として実施

(6) 実施場所



(7) 安全対策

- ・危険個所の事前調査と当日立ち入り禁止区域の徹底
- ・安全監視担当による安全監視の徹底

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・サポートスタッフ 5名
(受付、写真係、ゴミ集積場所担当、安全監視、救護係 etc.)

(9) 広報・募集方法

- ・高槻市の広報誌
- ・河川レンジャーホームページでの案内
- ・地元自治会への案内
- ・地域公民館への案内チラシ設置
- ・河川公園利用者への案内チラシの配布

(10) 必要支援内容

- ・ゴミ収集対応 (高槻出張所)
- ・公園整備計画の進捗資料 (淀川河川事務所河川公園課)
- ・必要物品 (テント、机、椅子、拡声器など) 貸与
- ・配布資料の印刷

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・「淀川・芥川クリーンアップ大作戦」実行委員会への参加
- ・大塚地区での実施計画の具体立案
- ・協力スタッフへの依頼および河川/公園管理者との打合わせ
- ・広報活動
- ・当日の運営 (大塚地区河川公園整備計画の進捗概要説明による啓発活動含めて)
- ・統一アンケートの作成およびまとめ

(12) その他

平成 28 年度 河川レンジャー年間活動計画

高槻出張所管内河川レンジャー 本田 有

1. 活動の目的

【現状】

川遊びに不慣れ、知識も経験もなくどうしてよいのかわからない母親が独自で子供を川に連れて行っている。高槻には多くの淀川・芥川についての環境や生物・生きもの、川に対する怖さのうえでの楽しさを知る団体や、個人活動がある。

そんな団体から学べる・体験できる場、つながりが求められ、その結果が子供達を地域が守ることにつながる。

【目的】

- * 芥川の水難事故 0 件をめざす
- * 母親と子供の楽しく安全な川遊び
- * 芥川から淀川（自分達の飲み水・遊び場）をきれいに
- * 津之江公園を再生し、市民の活動できる場にする

2. 活動の目標

- Step1 河川レンジャーの役割を確認し、認知度を高める為イベントを通じ広報活動をし、地域住民・母親達・行政などに感心を持っていただく
- Step2 活動を通じ得た問題や課題を多くの市民に伝える
- Step3 問題や課題から次の世代につなげられる活動をする

3. 活動の概要

	活動内容	実施時期（任命期間/年次）				
		試行	1期		2期	
		1	2	3	4	5~RA
Step1 地域住民の関心を高める	① 津之江公園再生プロジェクトへの参加 ・月一回の草刈り・清掃活動 ・巡回等により公園利用者にインタビューを実施。課題点等を河川公園管理者や活動者に共有 ② 高槻市内イベント（河川・環境）での広報活動 ・こいのぼりフェスタ 1000 川遊びをはじめめる親子連れ、河川周辺住民にむけ、河川の安全・治水・環境などを広報。アンケートなどを実施し、感心・問題点を探る ・たかつきエコフェスタ 河川レンジャーとしての1年の活動を報告し、住民や、他機関・団体との意見交換⇒次年の活動に生かす ③ 自然観察・体験（おかあさんは魚はかせ） 河川や、生きものにふれ、安全や環境に関心をもってもらおう。 母親達の河川に対する意見を聞く	→				
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	① 津之江公園プロジェクト 地域住民へのインタビュー実施により、昔からある問題点、今現在の問題点を把握し、解決や、妥協点を【たかつき市民会議】【たかつきエコスタッフ】【高槻市】と取り組む ② 母親達の意見より、行政と連携して子供を安全に河川に親しめるようにする	→				
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	① 津之江公園プロジェクト 公園・河川の将来像を話し合い、具体化する。	→				→

4. 平成 28 年度活動内容

活動分野	活動名	実施時期
河川の適正な利用の推進を図る活動	津之江公園再生プロジェクトへの参加	毎月第 1 金曜日 (予定)
河川に係わる文化歴史の普及・啓発活動	こいのぼりフェスタ 1000 での広報活動	4 月 (4 月 29 日)
	たかつきエコフェスタでの広報活動	1 月 (第 2 金・土)
河川の環境保全を図る活動	芥川クリーンアップ大作戦 津之江地区水辺クリーンアップ活動	3 月
川の人材を育成する活動	おかあさんは魚はかせ	6 月 or 7 月

■活動を実施していく上での課題

【津之江公園再生プロジェクトへの参加】

たかつきエコスタッフ、たかつき市民会議、中島河川アドバイザーとの今後の係わりと方向性の会議

【こいのぼりフェスタ 1000 での広報活動】 【たかつきエコフェスタ】

イベントの本来の成り立ちや意義、河川レンジャーとしての係わり、行政・実行委員会・芥川倶楽部との話し合い

【芥川クリーンアップ】

他団体、自治体、場所方法の確認

【おかあさんは魚はかせ】

イベント時期、方法、場所、協力団体、講師、広報活動

■課題に対する改善点

- ・ 他団体との連携を推進する
- ・ 広報活動

4. 1 津之江公園再生プロジェクト

(1) 活動目的

- ① 多くの生きものが生育・生息する豊かな生態系拠点の創出
- ② 市民の憩いの場及び災害・緊急時の活用を確保

↓

- * 新たなおおきなビオトープの創出による芥川流域での生きものの数の拡大
- * ビオトープのネットワーク、水辺のエコトーン創出による生物の多様性の向上
- * 高槻市域や芥川～淀川といった広域的な水と緑のネットワークの展開の

平成 27 年度 年間スケジュール

		実 施
平成 2 8 年	4月	草刈り・清掃
	5月	草刈り・清掃
	6月	草刈り・清掃
	7月	草刈り・清掃
	8月	
	9月	草刈り・清掃
	10月	草刈り・清掃
	11月	草刈り・清掃
	12月	草刈り・清掃
平成 2 9 年	1月	草刈り・清掃
	2月	草刈り・清掃
	3月	草刈り・清掃

(2) 連携等

- 団体との共催
- 団体名 (たかつき環境市民会議、たかつきエコスタッフ会、高槻市産業環境部・環境緑政課)

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象： たかつき環境市民会議、たかつきエコスタッフ会、高槻市産業環境部・環境緑政課
- 定員： なし (1 月度は参加者 38 名)

- (4) 実施内容
 - 合同草刈り・清掃
 - 巡回、生きもの観察
- (5) 実施日
 - 毎月第1金曜日
- (6) 実施場所
 - 高槻市津之江公園内
- (7) 安全対策
 - 保険加入
- (8) 協カスタッフ等の人数とその役割
- (9) 広報・募集方法
 - 現在なし
- (10) 必要支援内容
- (11) 活動における河川レンジャーの活動内容
 - 事前準備・関係機関との調整、当日の安全
- (12) 昨年度の活動を踏まえての改善点
- (13) その他

4. 2 【こいのぼりフェスタ 1000 (4月)】 【たかつきエコフェスタ (3月)】
での広報活動

(1) 活動目的

①【こいのぼりフェスタ 1000】

こいのぼりフェスタイベント開催の本来目的、河川愛護（自分達の遊び場芥川～飲み水淀川）を多くのイベント参加者（参加者は小学生親子・地域住民が多い）に河川の安全や、遊び方などを広報。

②【たかつきエコフェスタ】

1年を通して行った活動内容を発表し、多くの高槻市民に対し河川レンジャーの活動を知ってもらう。市内環境団体と情報共有し次年の活動につなげる

平成 27 年度 年間スケジュール

		実 施
平成 2 8 年	4月	①こいのぼりフェスタ 1000
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
平成 2 9 年	1月	②たかつきエコフェスタ
	2月	
	3月	

(2) 連携等

①〇団体との共催

〇団体名（青年会議所推進協議会、高槻市都市創造部 下水河川企画課、 ）

②高槻市産業環境部 環境緑政課

(3) 参加対象者・定員

①②〇参加対象： 周辺住民・小学生及び親御様

〇定員： なし

(4) 実施内容

- ①河川の安全に関するパネル展示及び河川利用に関するアンケートの実施
- ②活動内容のパネル展示

(5) 実施日

- ①4月29日(祝)
- ②1月13日・14日(金・土)

(6) 実施場所

- ①芥川桜堤公園
- ②高槻市役所横、生涯学習センター1階展示ホール

(7) 安全対策

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ2～3名 (活動のサポート)

(9) 広報・募集方法

募集チラシ

(10) 必要支援内容

スタッフ経費、資料作成展示用印刷費、

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

プログラム・展示内容企画、資料作成、事前打ち合わせ、関係機関との調整、当日

(12) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(13) その他

4. 3 芥川クリーンアップ大作戦

(1) 活動目的

自分達の遊び場、飲み水になる芥川を自分達の手できれいにする。

平成 27 年度 年間スケジュール

		実 施
平成 2 8 年	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
平成 2 9 年	1月	
	2月	
	3月	芥川クリーンアップ大作戦

(2) 連携等

- 団体との共催
- 団体名（大阪府、高槻市、芥川倶楽部、たかつき市民会議、新川姫蚩と花を守る会、高槻グリーンライオンズクラブ、高槻市観光協会、高槻スカウト連絡会、高槻中央ライオンズクラブ、ネイチャー高槻、竹和の会、TKK 自然観察会、読売新聞わいずクラブ、パナソニック松愛会、川西自治会など）

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象： 周辺住民
- 定員： 5組

(4) 実施内容

合同草刈り・清掃

(5) 実施日

3月

(6) 実施場所

高槻市あくあぴあ～津之江公園まで

(7) 安全対策

保険加入

(8) 協カスタッフ等の人数とその役割

協カスタッフ2～3名

(9) 広報・募集方法

チラシ募集

(10) 必要支援内容

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

事前準備・関係機関との調整、当日の安全

(12) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(13) その他

4. 4 摂津市：芥川水辺のいきもの観察会（仮称）

■連携する河川レンジャー名

- 杉本河川レンジャー（高槻出張所管内）
- 中島河川レンジャーアドバイザー（高槻出張所管内）

■連携理由

都市河川に囲まれ生きもの観察の場が少ない摂津市の子どもたちを、多様な生き物が生息している高槻市津之江公園にて観察会を実施する。それにより、自然環境の保全・啓発につながると考える。

■連携における河川レンジャー間の役割分担

- ・津之江公園プロジェクトの紹介

杉本河川レンジャー

- ・摂津市環境政策課との調整
- ・観察会指導の中島河川レンジャーアドバイザーとの事前打ち合わせ
- ・当日の観察会の指導

（1）活動目的

芥川の豊かな自然とふれあい、環境へ興味・関心を持つきっかけとなるような場を提供し、環境に優しい行動を啓発、自然を大切にすることを目的とする

活動実施スケジュール

		実 施
平成 2 8 年	4月	関係機関との調整
	5月	
	6月	参加者募集
	7月	現地下見、水辺のいきもの観察会 実施
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
平成 2 9 年	1月	
	2月	
	3月	

(2) 連携等

- 団体への協力
- 団体名 (摂津市 生活環境部環境政策課)

(3) 参加対象者・定員

- 参加対象：地域住民 (小学生) ※低学年の方は保護者同伴
- 定員：50名

(4) 実施内容

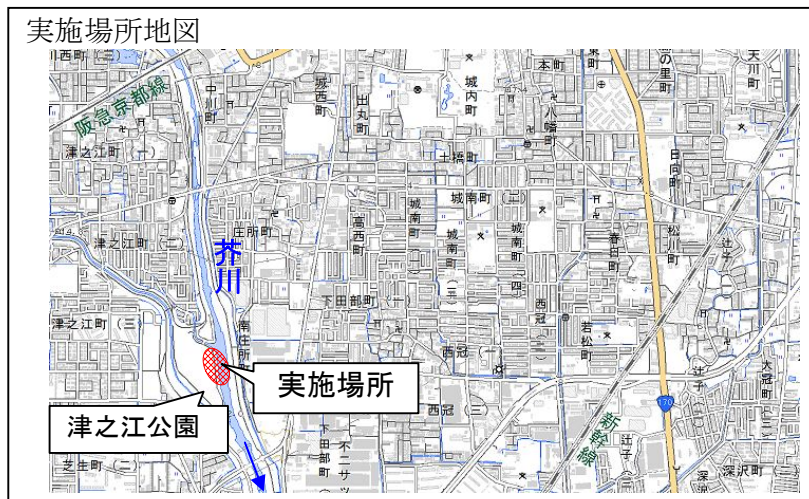
水生生物の生息環境や生態状況を調査・観察し、川の汚れ具合を観察、地球環境の保全・啓発を目的とする観察会

(5) 実施日

平成28年7月22日 (金) ※雨天・警報発令時は29日 (金) へ順延

(6) 実施場所

高槻市津之江公園 (芥川、如是川合流点付近)



(7) 安全対策

- ・監視員の配置
- ・ライフジャケットの借用
- ・緊急時の車両 (摂津市)

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・摂津市職員

(9) 広報・募集方法

摂津市内へ広報等で周知

(10) 必要支援内容

ライフジャケット、観察会用資材 (観察水槽、ライフジャケット、ウォータークーラー等) 日よけ対策 (テントもしくはタープ。熱中症予防)

(11) 活動における河川レンジャーの活動内容

摂津市、高槻出張所管内河川レンジャーとの事前調整
観察会 (当日) の進行

(12) その他